

2014年
9月1日

No.191

さざなみ

〒520-2141

大津市大江6丁目23-24

浦谷貞子 気付

さざなみネット

(金融労連・全国金融産業労働組合滋賀分会)

TEL・FAX 077-545-5154

金融ユニオン第6回定期全国大会

様々な活動・たたかいで多くの成果

8月30日、愛知県豊橋市民センターで、金融ユニオン第6回定期全国大会が開催され、代議員・役員・オブザーバー35名が参加しました。

浦野委員長は「安倍政権誕生以降、労働法制改悪をはじめ、集団的自衛権行使容認の閣議決定、消費税増税など次々と悪政が進められている。今春闘では増税分の賃上げを要求してたたかってきたが、厳しい回答が続いた。みずほ銀行では、粘り強いたたかいにより男女格差是正など大きな前進を勝ち取った。他でもたたかって、様々な要求を実現した。解雇撤回や不当差別、権利侵害などの裁判には、みんなで積極的に支援し、勝利を勝ち取って行こう」と挨拶しました。

議案提案に続いて討議が行われました。

- ・組合員の長期休業からの職場復帰を団体交渉で取り上げ、リワーク制度を活用して職場復帰し、8月中旬に正常勤務になった。
- ・2年前にG銀行と合併したが、人減らしが進んでおり、元G銀行出身者への賃金・臨給差別も酷く、長時間労働やノルマもきつい。労働条件の改善をめざして取り組んでいきたい。
- ・「泣き寝入りはしない」と金融ユニオンに加入し、あらためて組合の力を実感した。いろいろな要求が実現し、組合員も増えている。頑張っていきたい。



挨拶をする浦野委員長

- ・県内は金融機関が多く、金融庁も統合を促進しようとしている。新しい経営方針では、住宅ローンだけでは収益が上がらないと、リストラや賃下げなど労働条件を悪化させようと目論んでいる。「一人はみんなのために…」で、お互いに頑張っていきたい。

参加者22名から活発な発言が続いたあと、全ての議案が満場一致で採択され、新年度の役員の中から三役が信任投票で選出されました。

(新三役)

委員長 浦野 弘 (再)

副委員長 伊藤 宗孝 (再)、中村 弘光 (新)

書記長 松井美智子 (再)

金融ユニオン発足時から、副委員長を務めてきた山崎さんの退任挨拶のあと、新体制がスタートしました。



秋の草花

岩波 美智子さん 画



記念品を贈呈される山崎副委員長

第60回日本母親大会in神奈川

子どもたちに憲法が輝く明日を

第60回日本母親大会が、8月2日・3日パシフィコ横浜を中心に開催され、延べ13,400人が集いました。

全体会は5,500人の会場に7,200人が集まり、急ぎよ第4会場まで特設しての開催でした。

主催者を代表してあいさつした小畑雅子代表委員（全労連女性部長）は、集団的自衛権の行使容認など安倍政権の憲法破壊に不安と怒りが高まり、一点共闘がひろがっているとのべ、「母親大会の60年の歩みは憲法を暮らしに生かす歩みそのものです。憲法を守り生かす運動につなげる大会にしていましょ」と呼びかけました。

東京大学の小森陽一教授が「子どもたちに憲法が輝く明日を」と題して記念講演しました。母親と一緒に参加した第1回母親大会のころからの憲法をめぐる動きを語り、「地域からの運動を今こそ」と呼びかけました。



記念講演をする小森陽一教授

2日目の分科会は「映画『モンサントの不自然な食べもの』を観て、TPPと食の安全安心について考え

る」の分科会に参加しました。モンサント社は、元は枯葉剤を作っていたアメリカの化学薬品会社

で、今は遺伝子組み換えの種子（GMO）を世界各地に販売しています。英国のモンサント社の社員食堂ではGM食品禁止だとか。13年にはアメリカ産のトウモロコシや大豆、アーモンドなどから発がん性のあるアトラキシンが大量に検出されたそうです。

山梨の発言者は「『ストップリニア運動』をしているが、稲作農家の収入は最賃以下で、『リニア新幹線で田んぼが高く売れる』と喜んでいる人もいる。しかし大規模な自然環境や生活環境の破壊が心配だ」と、大阪の人は、「『M社のポテトチップを、何年も持っているが腐らない』といわれて、子どもや孫の将来が心配になってきた」と発言しました。

親戚のお通夜で、「最近は何もしなくても仏さんが腐敗しない」と葬儀屋さんが言っていたという話を聞き、食の問題をますます真剣に考えさせられました。食だけではない、TPPを通させてはならないと強く感じた大会でした。

（坂下）



広島原爆忌 三井寺で平和祈願の法要

「広島原爆忌」の8月6日、三井寺観音堂で原爆犠牲者慰霊・世界平和祈願の法要が行われ参加しました。

京阪電車三井寺駅で下車、疎水に沿って山手へ10分程、長等神社横の階段を登ると、すでに色とりどりの風船が束にして用意されていました。

原爆投下時刻の午前8時15分、三井寺の鐘が響くなか、1分間の黙祷、僧侶や信者の方の読経が続いた。その後、「すべての国が平和に」「核兵器廃絶」など平和のメッセージを綴った短冊をつけた風船約2000個が一斉に大空に放たれ、。風船の行方を見つめながら平和への思いを新たにしました。

あれから69年、「核兵器をなくそう」「9条守ろう」「原発アカン」様々な運動を続けるなかで、なんとか平和が保たれている今、一人ひとり

がささやかでも安倍政権に届く行動を・・・と思わずにはいられません。（植木）



三井寺観音堂前
原爆犠牲者慰霊・世界平和祈願法要